

寺報

龍正寺

日なた 155号

南無
佛
日
延



<令和 3年 4月>

宝龍会
護持会

令和3年春季彼岸会開催しました

令和3年3月20日(土)



コロナ対策として、
役員のみでの読経を
させて頂きました。



13時より檀信徒の皆様への参拝(塔婆供養)各々が気持ちを込めて、ご先祖様への感謝・供養のお参りをされました。

僅職一言 (寶塔偈)

法華經、妙法蓮華經見寶塔品第十一の一説

寶塔偈

此經難持 若暫持者 我即歡喜 諸佛亦然
如是之人 諸佛所歎 是則勇猛 是則精進
是名持戒 行頭陀者 則為疾得 無上佛道
能於來世 讀持此經 是真佛子 住淨善地
佛滅度後 能解其義 是諸天人 世間之眼
於恐懼世 能須臾説 一切天人 皆應供養

(解説)

人々がこの法華經に説かれた事を実行して大慈悲をもって世の中のなやめる者をすくい、迷った者をさとらすということをするならば、仏はほんとうによろこぶ。また自分は「かりでなく、十方のあらゆる佛様が、またいっしょに歡喜せられるのである。また佛がおほめになるほどの尊いことである。この「ばらく」というのは今日一日は完全に実行に努力することである。本当の勇猛ということとはなにか、人のために自分をめくれるほど「勇い」事はない。一切の人を救おうという大慈悲心からでたはたらきはけつて挫折することはない。これがほんとうの勇猛である。精神というのは雑な心をもたず、一つ道をまっすぐに挫折

することはない。これがほんとうの勇猛である。精神というのは雑念心をもたず、一
道をまっすぐに進むということ、唯一切衆生を救うということのみを目的として、まっ
すぐに進む者である。戒をたもつのは煩悩を減するためであるが、煩悩がなくなれ
ば自分のみさい利害損得にとらわれず、地位も名譽もほしいと思ふ心なく、ただ世の
ためにつくすことができるので、自然に戒をたもつことができる。五戒(不殺生、不
偷盜、不邪淫、不誑語、不飲酒、比丘三百五十戒、比丘尼五百戒、等あり)顛陀
というのは^{とら}抖擻とやくする。すべての物質的の欲望をうちほらしてなくすことを顛陀と
いうのである。一切衆生を救いたいという大きな理想をもった人、まったく世の中の自己を利するの欲
望をうちほらした人といえるのだ。直接に仏に存る道、この道一本をまっすぐにいきさえすれば「仏に
なれる」ということを、しっかりとらえたものといつてよい。末法の世になつて、世になつて、世の
中が非常に除惡になつた時に、この法華經をよみ信じてたもつ人、実行のできる人は
ほんとうの自分の子であつて、ほんとうにすぐれた美しい境界におちついていられる人である。仏の
滅度の後、仏の説いた教のほんとうの意味を理解して、これを世間につたえる人があるならば、
もろもろの天上界人間界のすべての者の眼である(善の標示)。眼でものをみるように実行する人によ
つて眞實の道がわかるのである。ことに世が末になつて、世相がおそろしくなつて来て悪人は^{ぼん}かり^{ごん}跋^{ごん}扈^{ごん}振
ようになる。こういうおそろしい世においてしばらくの間でも档に法華經の中にあるような教をもちい
なく説く人があるならば、決してその人の努力が無駄になりはしない。一切の天上界の者も、人
間界の者も供養する。すなわちかならずその努力に感謝してこれに力をあわせるようになる
としてこの法が滅びず、後々までつたわるのである。

合掌

南無妙法蓮華經

「息子の卒業式」

平成30年3月3日

息子の中学校卒業式の日でした。。

今から15年前の冬に、息子は私を父として選んでこの世に生まれに来てくれました。

病院で初めて、息子と対面した時に

看護婦さんから「オト"眼が開かかなりですよ」と言われたのを...

息子は両目を開き私の顔をしっかりと見つめてくれました。「僕が来たよ!」と言わんばかりの表情でした。

私は赤ちゃんの顔を見つめながら

「なるべく幸せにするからね!」と伝えた目を

昨日の事のように思い出します。

この15年を振り返ると上手な子育てでは無く、下手クソな斉器用な子育てでした。。

卒業式の前日に「明日の式は父さんが行くから」と伝えておりました。コロナ禍での家族代表のおとなっておりました。

卒業証書授与の際には、歓喜極めたり

涙が溢れて来ました。

私は息子の節目を機に自身の人生を振り返る回顧いたしました。

半歩を振り返ると曲がり曲がった道が
50歩を過ぎた何れか真直ぐに歩いた
気がしました。

こうして下手な子育てでも二子で来たのは妻の
お陰でもあると思います。卒業式の夜に「有難う」と
伝えビールとお茶を妻と乾杯をしました。。
妻は「二ちらに有難う」と返されました。

子供達が迎える未来には多くの苦難があると
想像する時があります。。
人には各々の通らなければ行けない道があるようにも
思えます。

卒業式を終えた息子は友人達の写真に笑顔が
溢れていました。。

私は帰路に仏壇前に仏様と大黒天の前の
「子供達の行く未来に笑顔が溢れるように！」
と祈願致しました。

南無妙法蓮華經

「日記より」

何よりも大切なわたくしの今の思いです
と書いてあります 平成9年4月4日
今わたくしは80才でございます 56才の時です

昨日の雨も上がりお天気がよくなりました
もう桜の花も舞って散りはじめました
今年も美しい桜の花を咲かせていただいて
ありがとうございます

大宇宙 大自然の恩恵に御礼を申し
上げます

わたくしの毎日は

緊張と努力

有難さを感じる心の中に少し不満を

持つ心の葛藤の中に流れる涙...

一日中エプロン姿... うでまくり

そして常に笑顔...

そして 32年肉の中で出来上がった

No. Date

主婦の顔...

ご近所の方々にお世話になって子ここの有難さ
の思返しをさせていただけりかなあーと
常に思っ心

先々の不安がいっぱいです

今朝もご先祖さまに涙声で話しました

お金の余裕もなく 忙しさに追われればガリの

日々です 何事もなく大変になりませぬように

物事が順調に運ばせていただけてます様にし

心に手を合せて朝です

義理が残ってくれた信用と姑の誠心誠意の

仕事ぶり 主人の真面目な仕事の中で長年

続けてこられた八百屋さんです

岐阜祭りの時はあげずし お赤飯 散らしずし

しはん人気は散らしずしでした 穂条屋のはい

のってます 今口から作ります

今…化粧して髪と顔に身支度かとい
 ました 鏡の中のかたくりは…にいと
 笑って 今も一日よろしくお願い致しますと
 頭を下げる エアコンの糸もをきりと結びます
 二人の息子の成長もよろこびです
 良き方に…縁がいただけますと祈ります
 親の思いも追いついて歩いてくれ子人生も
 又又よろこびの様です……

いはいこうして記してあります 日記を読み返して
 は 有難さの涙が流れます
 年老いて来られた今のわたくしでございませうか 今は
 幸い法々經の…縁が頂けたことの有り難さの
 中で報恩のお題目を唱えさせていたたけます
 よろこびの自々でございませう お正人さまの…法話
 の中に学びをいはい頂けますことか何よりの心の
 成長でございませう 心よりよろこびの御礼申します

南無妙法蓮華經

合掌

— 娘の旅立ち —

先日、就職のため一人暮らしをする事になった。娘の引越を家族で手伝いに行きました。

夢に向かって進もうとする娘に楽しみな気持ちもありますが、やはり心配な事も多く、明日の朝は何食べる、洗濯はちゃんとできるか、お金は足りるか... などで気がなやまして仕方ありません。

同じ階に住んでみえる方への挨拶は、あと一軒となり、大家さんへの挨拶も都合により一緒に伺うことができませんでした。

私達の心配をよそに、娘は大家さんにも挨拶せずと留守だった方へは、手紙を添えて挨拶とさせて頂いたようです。「これでいいかなあ？」と手紙の内容を送ってきましたが、失礼のない文章に、娘の成長を感じました。

一人暮らしをすると、大変な事も多いと思いますが、その分人としてたくさん成長できると感じています。引越の日の数日前は、私の誕生日でした。

手作りのマスクホルダーと一緒に添えられた
手紙には、「いつでも電話できるから、話したく
なったら電話してきてね!」と書かれていました。
これって、親が子どもに言う事?! と思いつまわらぬ。
私の愚痴を一緒に聞いてくれた娘を思
い出し、こんな親で良かったらどうか...と
自問自答しながら今できる事を精一杯させて
もらおうと誓いました。

毎朝、娘を思って、お題目を唱えさせて頂いてい
ます。一日一日過ぎていくうちに、心配な気持ち
が少しずつ柔らかくなっていく気がします。便利な
機能によって、いつでも顔を見て話すこともでき
ます。また「また」が始まるばかりですが、家族の
コミュニケーションを大切にしていきたいと思えます。

心の変化

今年度に入り、お人より 明るい服を着る方が良いとアドバイスを受けていたが、あまりいいと思える服もないと思いつながら日々過ぎていました。

ある日、黄色と白のコントラストのカバンが気に入ってそこからスイッチが入り、どんどん明るい色の服を買うようになりました。

2月に5月の連休の仕事のクジ引きをしてその内容があまりにもひどくてその怒りのままお寺へそんな時には またまたイライラする出来事が重なり、お寺へ行くなり、お人にもそのイライラの内容を話をしている途中で不思議な位、心が落ち着き自分自身がびっくりしてしまったのを機に、仕事に対しても積極的に動こうとしている自分にまたもやびっくりでした。

暗い色を着ていると、自然と内傾りに向いて、消極的になりやすく、明るい色を着ていると、チャレンジしようという気持ちも上向きになるのを肌感覚で感じることができました。

今年は、自分が着たい服を着て、チャレンジしていくことを目標に目一杯がんばろうと思います。

しかし、チャレンジしようとする。他人の目が気になります。
お上人からは、それでいい。どう思われようが己を貫くとい
う気持ちを教えていただき、再度気持ちを
振り立たせ、チャレンジしています。

色は不思議と人の心の中を映し出す鏡だと
新たに思いました。

色の力を借りて日々頑張っています。

南無妙法蓮華經

相手の気持ちに寄り添う

昨秋に車を購入しました。運転が上手くない為、愛車にはあちとちと傷があり乗りつぶす予定でした。タイヤ交換でディーラーに行くと「車検が近いので乗り替えはどうですか?」と言われました。全タイヤと車検代を考えると…でも余裕のあるわけではないし…断るつもりでした。店員さんとの会話中に、保険の満期が近いという事を思い出しました。決算最終日でお値打ちにもなりました。訪問介護の仕事をしているので車は必須です。今後の事も考え、新車購入を決めました! 乗り替えは正解でした。安全操作がついていてとても運転しやすい車でした。

今春、主人の車も車検時期になりました。初めは、続けて車を購入するのは難しいと思いましたが、大病を繰り返してきた主人の体を考えると、安全操作のついた車で安心して運転してもらいたいと強く思いました。

主人の車検予約に、ディーラーに行くと、案の上、新車購入をすすめられました。しかし今回は私自身も、今後の主人の事を思う

気持ちもありましたので 主人と来訪できた5...。と伝え
ました。

主人に話しをすると、あまりよい返答ではありませんでしたか
一緒に来店してくれました。...しかし...やはり主人は...

なんとか 主人の事を考えている車購入だと伝えたい!!

私は大事な事を忘れていました。自分自身の気持ちも強く、
主人の気持ちも考えていませんでした。勝手に喜んでくれ
ると思いこんでいました。

「これではいけない!。主人に気持ち良く新車に乗ってほ
ういたい...。すぐお寺に行き御住職に相談しました。
そして、自分だけの思いを押しつけていた事を ざんげしま
した。」主人の思いにまかせよう。」と思いました。

翌日 ティーラーへの返答を聞くと「行くんやろ。」と準備を
してくれていました。前回同様で最終決算日でお値打になりました。
その日は 28日 初りの日 鬼子母尊神・七面大明神様の御
縁の日でもありました。夫婦揃って御縁も頂いている事に感謝
しました。夫婦共初老、安全運転に心がけたいと思います。

南無妙法蓮華經

< 4月行事予定 >

4月 8日 (木) 10:00 ~ 釋尊降誕会
宗祖日蓮大聖人報恩会
立教開宗会

4月 18日 (日) 13:00 ~ 大祈祷会

< 4月住職の予定 >

寺院ニテ法務

< 4月の予定 >

4月 1日 (木)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
7日 (水)		
8日 (木)	法要後	片付け、準備
9日 (金)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
16日 (金)		
17日 (土)	10:00 ~	飾り付け